

2021年(令和3年)下期 景気動向調査結果

～先行き不透明、新型コロナウイルス感染症、仕入価格上昇の影響続く～

和歌山商工会議所

- 目 的 : 当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間 : 2021年7月1日から2021年12月31日(2021年(令和3年)下期)
- 調査実施期間 : 2021年12月27日から2022年2月4日
- 調査方法 : 郵送によるアンケート方式
- 調査対象 : 常議員・議員・部会副部会長・女性会・青年部・商工振興委員 535事業所
- 回答数 : 回収数 194 (回収率 36.3%)

業 種		従業員数	0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	合計
非製造業	製造業		8	13	13	9	15	58
	建設業		5	5	6	2	2	20
	小売業		14	5	5	2	4	30
	卸売業		11	5	5	4	2	27
	サービス業		14	4	8	7	7	40
	その他業		4	5	0	0	10	19
合 計			56	37	37	24	40	194

● 概 要

2021年下期(7月～12月)の全業種の景況感(2ページ 業況DI)は、コロナ感染症出現以来、初めてプラスに転じ改善となった。主要指標である業況、売上(3ページ)、採算(4ページ)の各DI値について、製造業では、全て大幅に改善した一方で、非製造業は、全体で見た場合、売上DI値の今期プラス以外は、今期及び前期比ともに全てマイナスとなり悪化傾向になった。非製造業を業種別で見た場合、サービス業、その他業は主要3指標で今期及び前期比ともにほぼプラスとなったが、建設業、小売業、卸売業は、今期及び前期比ともにほぼマイナスで、建設業の採算DIが、今期▲40.0、前期比▲56.7と大きく後退した。また、資金繰りについては、製造業ではプラスに転じた一方、非製造業ではマイナス域を脱せず、特に、小売業、卸売業、サービス業で悪化しており、依然として厳しい状況が続いている。

直面する課題(10ページ)として、製造業は、「仕入・原材料単価の上昇」が最も多く、次いで「価格への転嫁難」が新たに挙げられ、「需要の停滞」「生産設備の不足・老朽化」が続く、今期「コロナの影響」が上位の課題から初めて姿を消した。非製造業のうち、建設業は、「仕入・原材料単価の上昇」「従業員・熟練技術者の確保難」「需要の停滞」「コロナの影響」、小売業は、「コロナの影響」「需要の停滞」「仕入・原材料単価の上昇」、卸売業は、「仕入・原材料単価の上昇」「需要の停滞」、サービス業は、「従業員・熟練技術者の確保難」「コロナの影響」「人件費の増加」、その他業は、「コロナの影響」「需要の停滞」「製品ニーズの変化への対応」が挙げられた。製造業で、「価格への転嫁難」が新たに課題に挙げられた他は、全体として「需要の停滞」「仕入・原材料単価の上昇」などが大きな課題であり、引続きコロナの感染状況に左右される状況が続くと思われる。

先行きについては、製造業および非製造業ともに景況感、悪化の見通しが示されている。製造業、非製造業ともに、オミクロン株による第6波の感染者数の急激な拡大に対する警戒感に加え、「仕入単価、材料費の高騰による収益の悪化」、「エネルギー単価の上昇」、「部品等の納期大幅遅延や製品不足」等、厳しい状況が続く、先行き不透明感が払拭できない状況である。引続き、コロナ感染症の影響については、新たなオミクロン株による感染者数の増加等をはじめ今後も景気動向について、注視していく必要がある。

皆様から寄せられた企業、業界の取組み(抜粋)

●製造業

- ・SDGs
- ・インターネット販売
- ・技能向上、人材育成、人材確保
- ・デジタル化(DX)の推進
- ・製品の値上げ、価格転嫁
- ・業務の合理化、営業拡販

●非製造業

- ・SDGs
- ・脱炭素、カーボンニュートラルへの取組
- ・働き方改革
- ・デジタル化(DX)の推進
- ・既存事業の拡大、新規事業への参入
- ・HP、SNSでの集客

※「DI値」とは

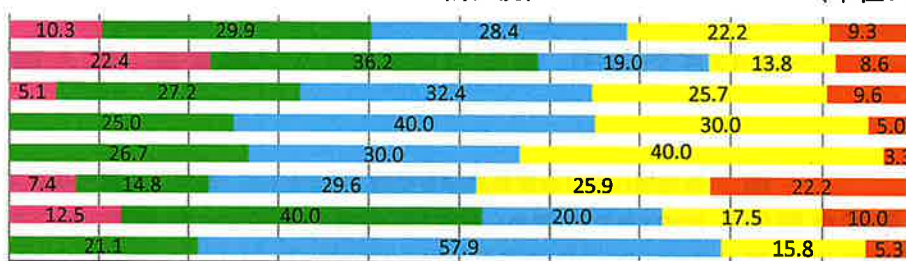
デフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「好転(やや好転を含む)」、「増加(やや増加を含む)」、「上昇(やや上昇を含む)」したとする企業割合から、「悪化(やや悪化を含む)」、「減少(やや減少を含む)」、「低下(やや低下を含む)」したとする企業割合を差引いた値。

今期(2021年7月～12月)のDI値

全業種	(今期 8.8 前期比 9.3)
製造業	(今期 36.2 前期比 43.0)
非製造業	(今期 ▲2.9 前期比 ▲5.0)
建設業	(今期 ▲10.0 前期比 ▲18.3)
小売業	(今期 ▲16.7 前期比 ▲20.1)
卸売業	(今期 ▲25.9 前期比 ▲10.9)
サービス業	(今期 25.0 前期比 18.2)
その他業	(今期 0.0 前期比 0.0)

(業況)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2021年7月～12月)の状況

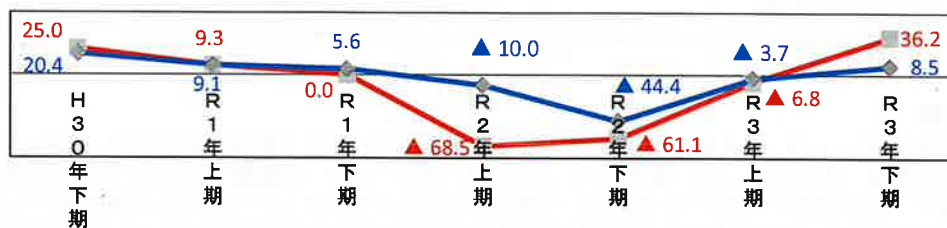
製造業で36.2(前期比43.0)、非製造業で▲2.9(前期比▲5.0)、全業種で8.8(前期比9.3)となり、製造業では大幅に改善し、非製造業では、サービス業でプラスに転じたものの全体としてはマイナス値となった。製造業では「コロナ感染者数の減少による受注の回復」や「半導体関連や電子部品が好調」、「withコロナ、afterコロナに向けた海外状況の復調」等の要因により、大幅に改善となりました。非製造業を業種別にみるとサービス業では、「ワクチン接種効果やコロナ感染者数の減少による自粛の緩和」等でプラスに転じたが、建設業、小売業、卸売業では、「製品の納期遅延、製品不足」、「仕入単価、材料費の高騰や原油高」に加え、依然として「新型コロナウイルス感染症による影響」等の理由により悪化、やや悪化との回答が多く寄せられ、非製造業全体としては、マイナスに転じた。

※前期比とは、前回調査(令和3年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

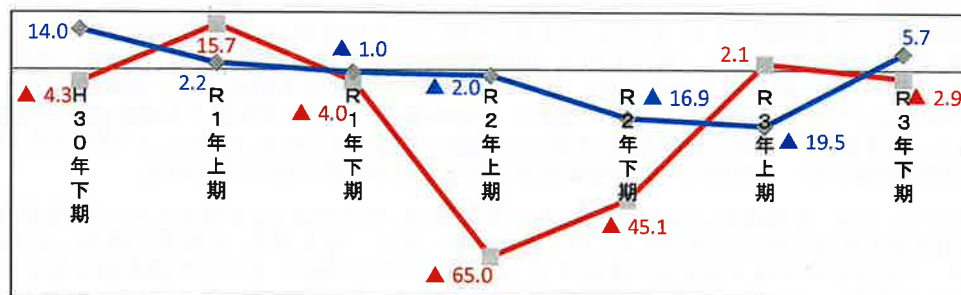
製造業

—●— 今期のDI値
—●— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

—●— 今期のDI値
—●— 前期調査時点での今期見通し

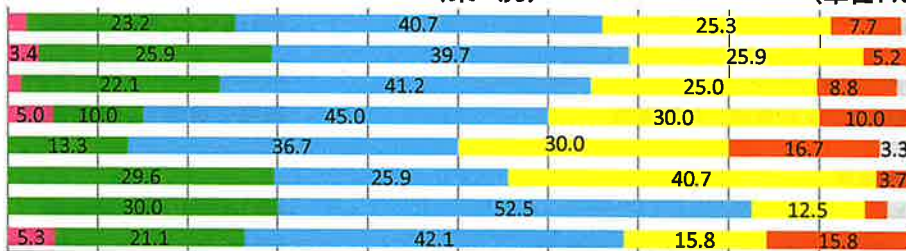


来期(2022年1月～6月)の見通しDI値

全業種	(見通し ▲7.7 今期比 ▲16.5)
製造業	(見通し ▲1.7 今期比 ▲37.9)
非製造業	(見通し ▲10.3 今期比 ▲7.4)
建設業	(見通し ▲25.0 今期比 ▲15.0)
小売業	(見通し ▲33.3 今期比 ▲16.7)
卸売業	(見通し ▲14.8 今期比 11.1)
サービス業	(見通し 15.0 今期比 ▲10.0)
その他業	(見通し ▲5.3 今期比 ▲5.3)

(業況)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期(2022年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業では▲37.9ポイント悪化の▲1.7、非製造業では▲7.4ポイント悪化の▲10.3、全業種で▲16.5ポイント悪化の▲7.7と見通している。製造業の悪化、やや悪化要因として、「仕入単価、材料費の高騰による収益の悪化」、「エネルギー単価の上昇」、「部品等の納期大幅遅延や製品不足」等が挙げられた。非製造業の同要因としては、「仕入単価、材料費の高騰」や「製品不足、ウッドショック」等が多く、「オミクロン株の感染による影響」が今後も見通せず先行きへの不透明感が挙げられた。

今期(2021年7月～12月)のDI値

(売上)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期(2021年7月～12月)の状況

売上DI値は、製造業で41.4(前期比32.9)、非製造業で2.2(前期比▲3.5)、全業種で13.9(前期比7.4)となり、製造業では、前期より大幅に改善した。増加、やや増加要因としては、「受注増加」、「前年同期が新型コロナウイルス感染症による影響のため売上減」や「コロナの状況が落ち着いた」等の回答が多く、非製造業でも、プラスとなりやや改善となったが、業種別に見ると小売業、卸売業で、前期比を含めマイナス値となり、減少、やや減少要因として、「製品不足や長納期化」が最も多く挙げられ、売上の機会を逸している状況が伺えた。

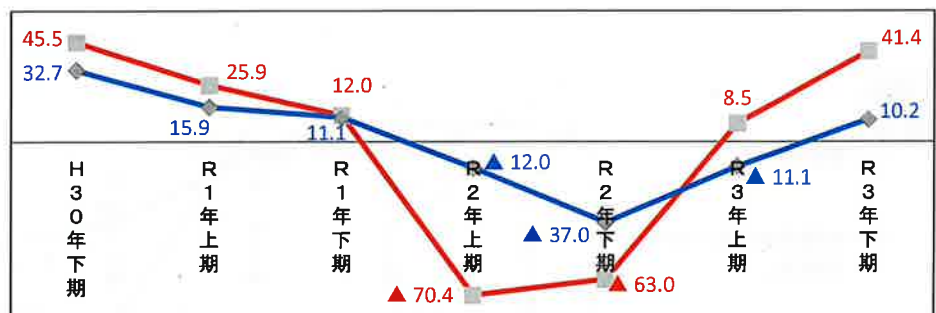
※前期比とは、前回調査(令和3年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 実際のDI値

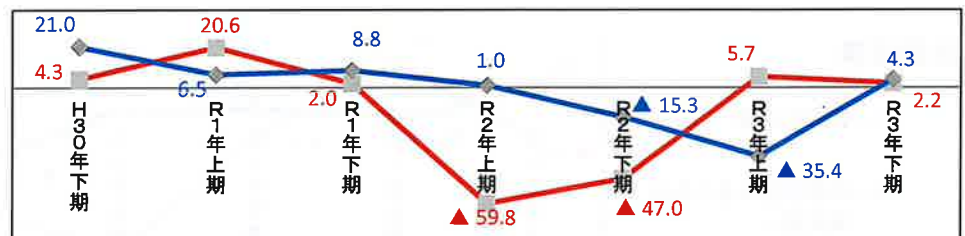
■ 前期調査時点での今期見通し



非製造業

■ 実際のDI値

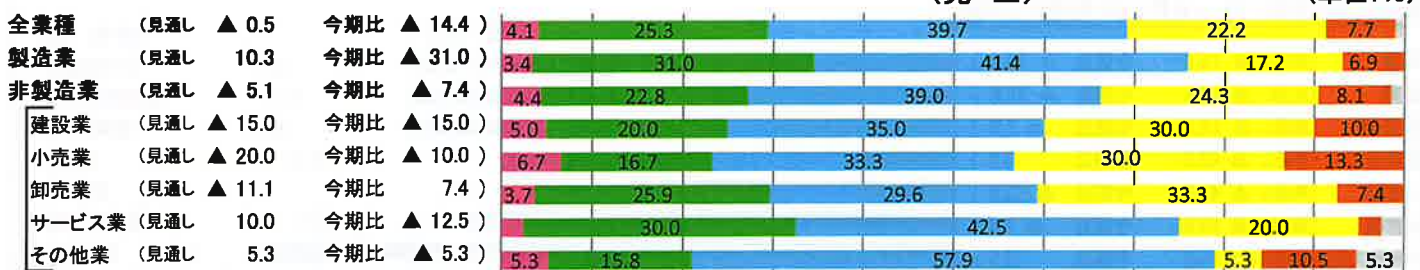
■ 前期調査時点での今期見通し



来期(2022年1月～6月)の見通しDI値

(売上)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期と比較した来期(2022年1月～6月)の見通し

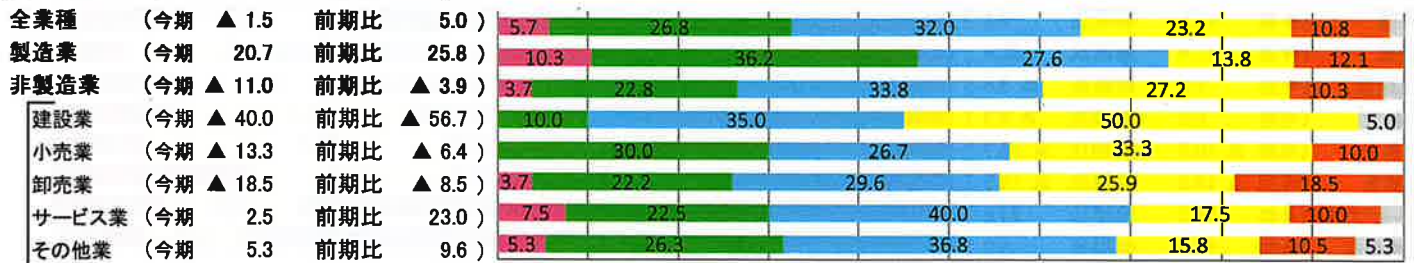
今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で▲31.0ポイント悪化の10.3、非製造業で▲7.4ポイント悪化の▲5.1、全業種で▲14.4ポイント悪化の▲0.5と見通している。

製造業でプラスと見通しているものの全体としては、来期においても業況と同様に、「仕入単価、材料費の高騰」「製品不足や納期遅延」「オミクロン株の感染による影響」等が挙げられ、長引く「新型コロナウイルス感染症による影響」が、今後も続くことへの先行き不透明感が拭えない状況が示された。

今期(2021年7月～12月)のDI値

(採 算)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2021年7月～12月)の状況

採算DI値は、製造業で、20.7(前期比25.8)、非製造業で▲11.0(前期比▲3.9)、全業種で▲1.5(前期比5.0)となった。製造業では、マイナス域を脱し大幅に改善。改善した要因として、「受注の回復、増加」「海外物件の復調」等が挙げられ、消えた需要が戻りつつあるものの「原材料価格の高騰」により、売上は増加するも採算は前期と変わらずとの回答も多く見受けられた。非製造業ではマイナスとなり、特に建設業、小売業、卸売業で悪化。悪化、やや悪化要因としては、直面する課題として挙げられている「仕入単価、材料費の高騰」「需要の停滞」や「価格への転嫁難」等が挙げられ、採算の回復には繋がっていないことが伺えた。

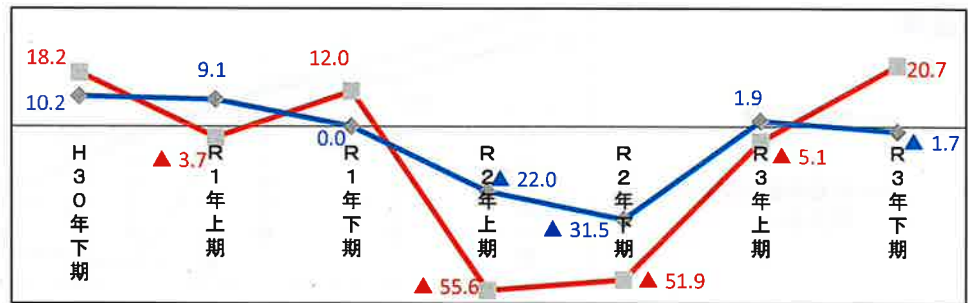
※前期比とは、前回調査(令和3年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 実際のDI値

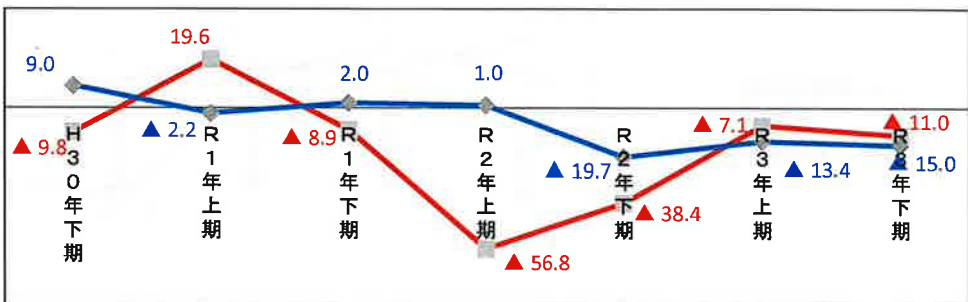
◆ 前期調査時点での今期見通し



非製造業

■ 実際のDI値

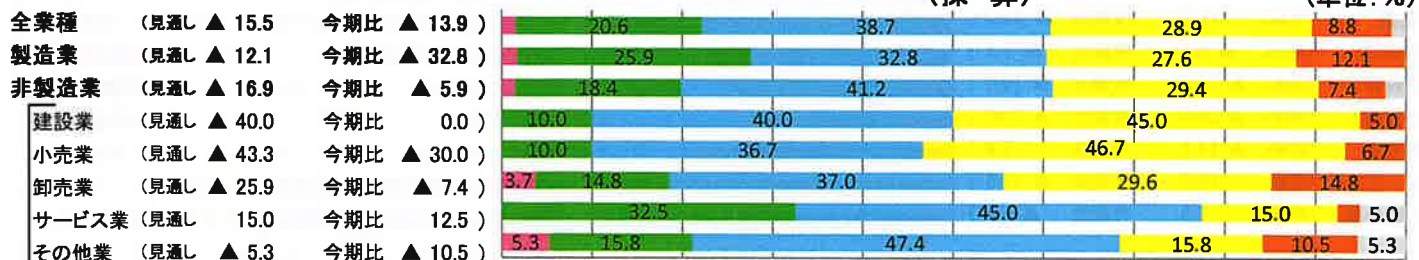
◆ 前期調査時点での今期見通し



来期(2022年1月～6月)の見通しDI値

(採 算)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期(2022年1月～6月)の見通し

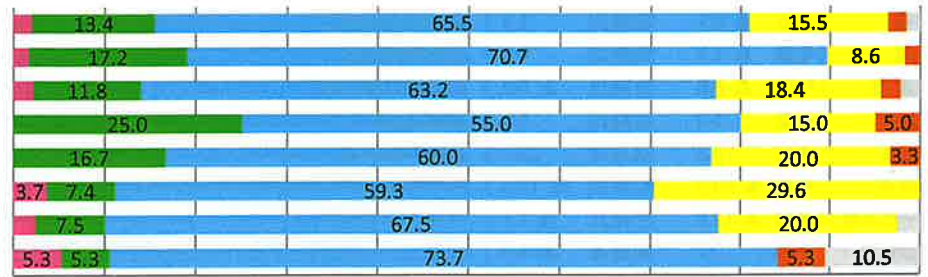
今期と比較した来期見通しDI値は、製造業で▲32.8ポイント悪化の▲12.1、非製造業で▲5.9ポイント悪化の▲16.9、全業種で▲13.9ポイント悪化の▲15.5と見通している。製造業、非製造業とも、来期見通しDI値は依然としてマイナス域にとどまっており、「仕入価格、原材料費コストの上昇」「ウッドショック」が継続していくことへの懸念や、収束の見通せない「新型コロナウイルス感染症による影響」等により、採算の回復については厳しい見通しとなった。

今期(2021年7月～12月)のDI値

(資金繰り)

(単位: %)

全業種	(今期 ▲2.1 前期比 5.4)
製造業	(今期 8.6 前期比 22.2)
非製造業	(今期 ▲6.6 前期比 ▲1.6)
建設業	(今期 5.0 前期比 ▲7.5)
小売業	(今期 ▲6.7 前期比 ▲10.1)
卸売業	(今期 ▲18.5 前期比 ▲18.5)
サービス業	(今期 ▲10.0 前期比 8.2)
その他業	(今期 5.3 前期比 18.3)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2021年7月～12月)の状況

資金繰りDI値は、製造業で8.6(前期比22.2)、非製造業で▲6.6(前期比▲1.6)、全業種で▲2.1(前期比5.4)となった。製造業では、マイナス域を脱し大幅に改善しているが、非製造業では、未だマイナス域を脱せず、特に小売業、卸売業、サービス業では悪化しており、厳しい状況が続いている。

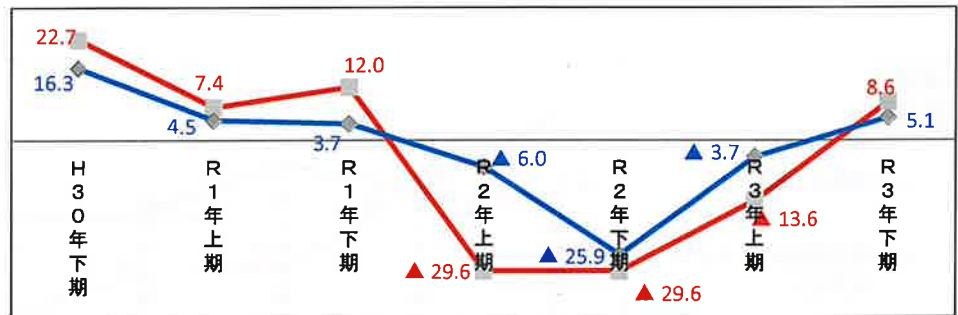
※前期比とは、前回調査(令和3年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

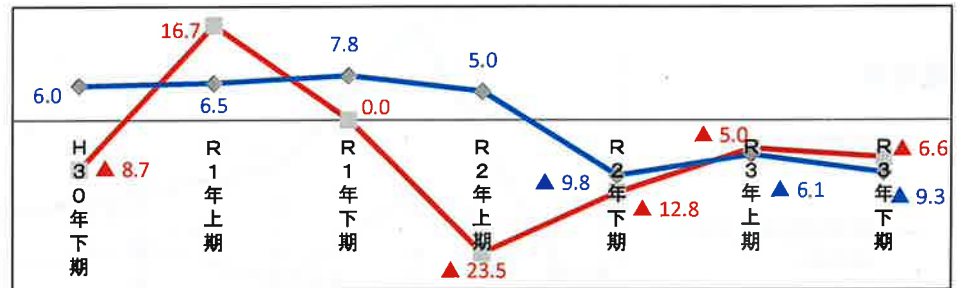
◆ 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

◆ 前期調査時点での今期見通し

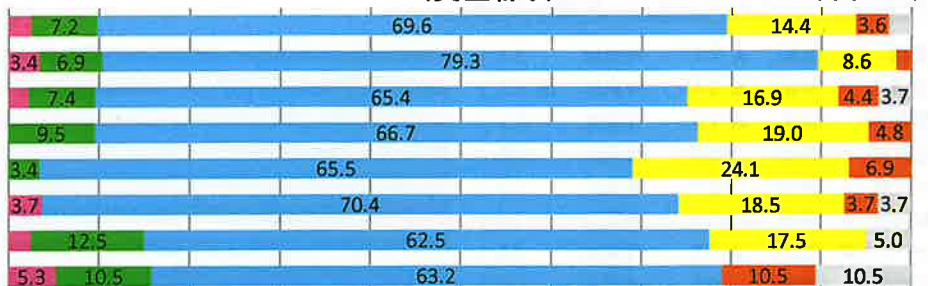


来期(2022年1月～6月)の見通しDI値

(資金繰り)

(単位: %)

全業種	(見通し ▲8.2 今期比 ▲6.2)
製造業	(見通し 0.0 今期比 ▲8.6)
非製造業	(見通し ▲11.8 今期比 ▲5.1)
建設業	(見通し ▲14.3 今期比 ▲19.3)
小売業	(見通し ▲27.6 今期比 ▲20.9)
卸売業	(見通し ▲18.5 今期比 0.0)
サービス業	(見通し ▲2.5 今期比 7.5)
その他業	(見通し 5.3 今期比 0.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期(2022年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で▲8.6ポイント悪化の0.0、非製造業で▲5.1ポイント悪化の▲11.8、全業種で▲6.2ポイント悪化の▲8.2と見通している。非製造業では、その他業を除きマイナスとなり、資金繰りは悪化の厳しい見通しとなった。

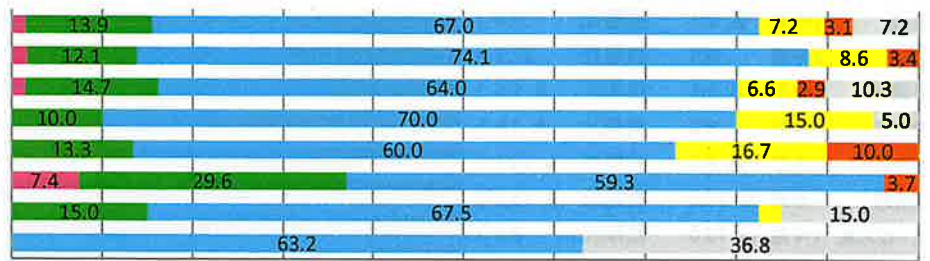
【 在庫DI値 】

今期(2021年7月～12月)のDI値

全業種	(今期 ▲ 5.2 前期比 1.8)
製造業	(今期 ▲ 1.7 前期比 6.8)
非製造業	(今期 ▲ 6.6 前期比 ▲ 0.2)
建設業	(今期 5.0 前期比 5.0)
小売業	(今期 13.3 前期比 20.2)
卸売業	(今期 ▲ 33.3 前期比 ▲ 18.3)
サービス業	(今期 ▲ 12.5 前期比 ▲ 1.1)
その他業	(今期 0.0 前期比 ▲ 4.3)

(在庫)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期(2021年7月～12月)の状況

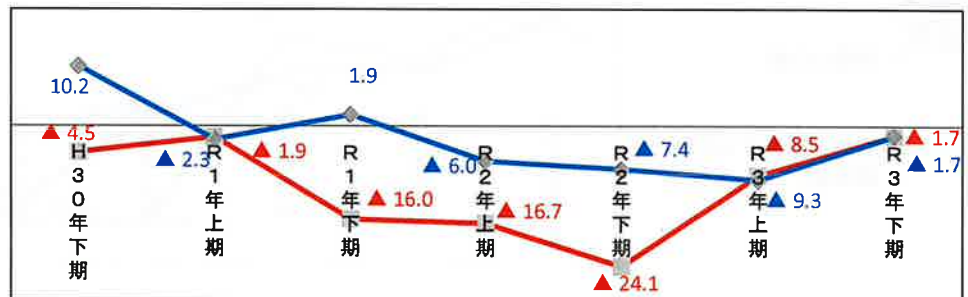
在庫DI値は、製造業で▲1.7(前期比6.8)、非製造業で▲6.6(前期比▲0.2)、全業種で▲5.2(前期比1.8)となった。製造業では、前期比プラスとなり改善が見受けられるが、マイナス域を脱しておらず、在庫の過剰傾向が伺えた。非製造業では悪化し、とりわけ卸売業、サービス業で在庫の過剰傾向が続いている。

※前期比とは、前回調査(令和3年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

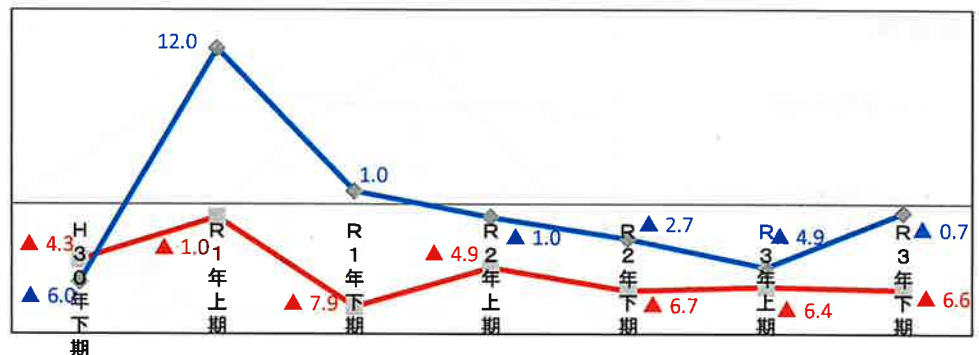
製造業

—●— 実際のDI値
—●— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

—●— 実際のDI値
—●— 前期調査時点での今期見通し

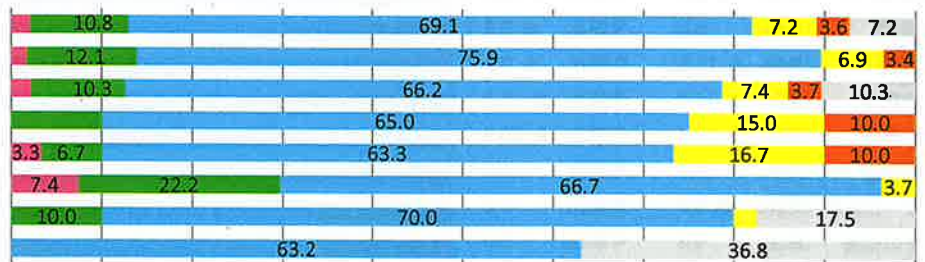


来期(2022年1月～6月)の見通しDI値

全業種	(見通し ▲ 2.1 今期比 3.1)
製造業	(見通し ▲ 3.4 今期比 ▲ 1.7)
非製造業	(見通し ▲ 1.5 今期比 5.1)
建設業	(見通し 15.0 今期比 10.0)
小売業	(見通し 16.7 今期比 3.3)
卸売業	(見通し ▲ 25.9 今期比 7.4)
サービス業	(見通し ▲ 7.5 今期比 5.0)
その他業	(見通し 0.0 今期比 0.0)

(在庫)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期と比較した来期(2022年1月～6月)の見通し

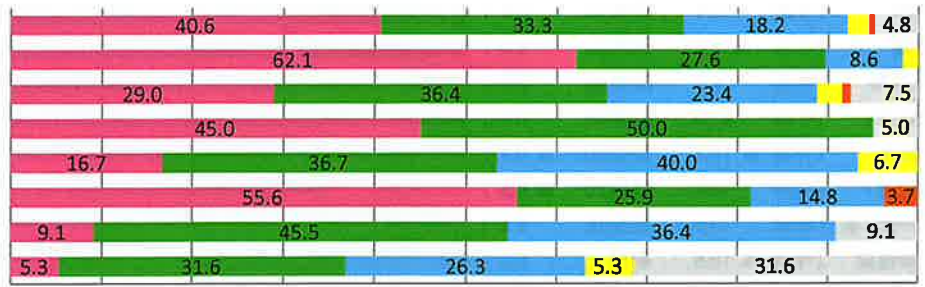
今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で▲1.7ポイント悪化の▲3.4、非製造業で5.1ポイント改善の▲1.5、全業種で3.1ポイント改善の▲2.1と見通している。製造業、非製造業ともマイナスの見通しとなり、非製造業では今期と同様に卸売業、サービス業でマイナスとなり、過剰傾向が続く見通しとなった。

今期(2021年7月～12月)のDI値

全業種	(今期 ▲ 70.9 前期比 ▲ 19.1)
製造業	(今期 ▲ 87.9 前期比 ▲ 18.4)
非製造業	(今期 ▲ 61.7 前期比 ▲ 17.4)
建設業	(今期 ▲ 95.0 前期比 ▲ 15.8)
小売業	(今期 ▲ 46.7 前期比 ▲ 5.3)
卸売業	(今期 ▲ 77.8 前期比 ▲ 12.8)
サービス業	(今期 ▲ 54.5 前期比 ▲ 18.1)
その他業	(今期 ▲ 31.6 前期比 ▲ 22.9)

(仕入単価)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期(2021年7月～12月)の状況

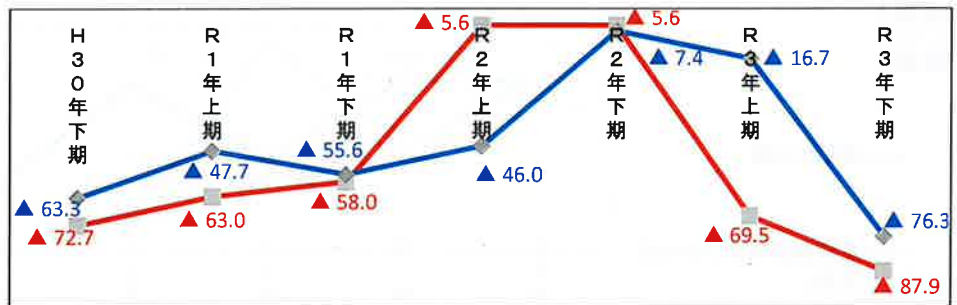
仕入単価DI値は、製造業で▲87.9(前期比▲18.4)、非製造業▲61.7(前期比▲17.4)、全業種で▲70.9(前期比▲19.1)となった。製造業、非製造業ともに、前期比とも全業種で大幅にマイナスとなり、仕入単価上昇による影響が大きい結果となった。

※前期比とは、前回調査(令和3年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

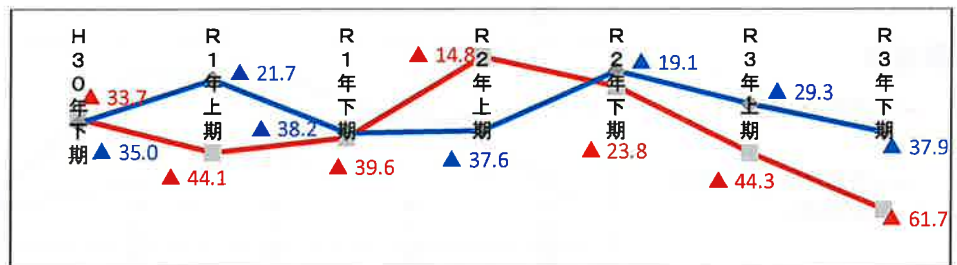
製造業

— 実際のDI値
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値
— 前期調査時点での今期見通し



来期(2022年1月～6月)の見通しDI値

全業種	(見通し ▲ 67.0 今期比 3.9)
製造業	(見通し ▲ 82.8 今期比 5.2)
非製造業	(見通し ▲ 60.3 今期比 1.4)
建設業	(見通し ▲ 95.0 今期比 0.0)
小売業	(見通し ▲ 60.0 今期比 ▲ 13.3)
卸売業	(見通し ▲ 74.1 今期比 3.7)
サービス業	(見通し ▲ 42.5 今期比 12.0)
その他業	(見通し ▲ 42.1 今期比 ▲ 10.5)

(仕入単価)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期と比較した来期(2022年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で5.2ポイント改善の▲82.8、非製造業で1.4ポイント改善の▲60.3、全業種で3.9ポイント改善の▲67.0と見通している。製造業、非製造業とも今期比でプラスとなるも、全業種において見通しはマイナスとなり、今後も仕入単価の上昇による悪化傾向が続く厳しい見通しとなった。

【 従業員数DI値 】

今期(2021年7月～12月)のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期(2021年7月～12月)の状況

従業員数DI値は、製造業で▲1.7(前期比0.0)、非製造業で5.9(前期比0.9)、全業種で3.6(前期比0.6)となった。製造業では、マイナスとなり、減少傾向であることが伺え、非製造業では小売業、その他業を除きプラスとなり、今期はやや人手が増加傾向であることが伺えた。

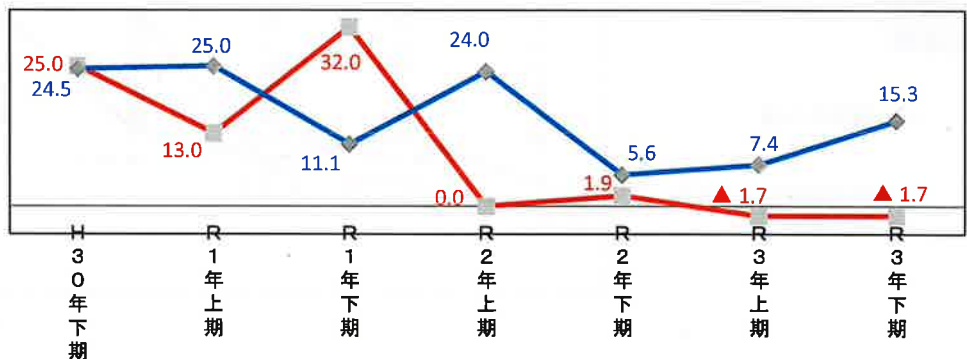
※前期比とは、前回調査(令和3年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 実際のDI値

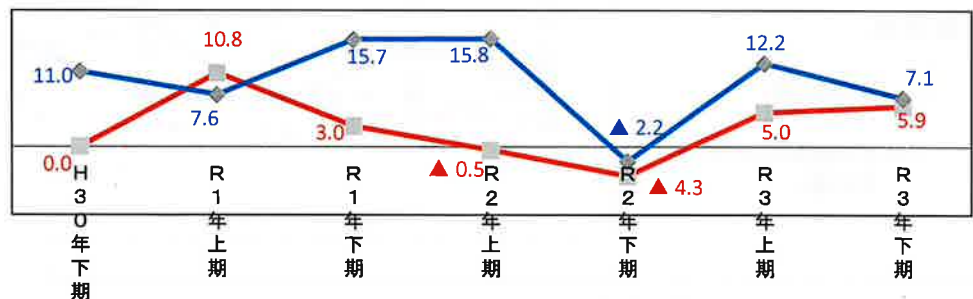
■ 前期調査時点での今期見通し



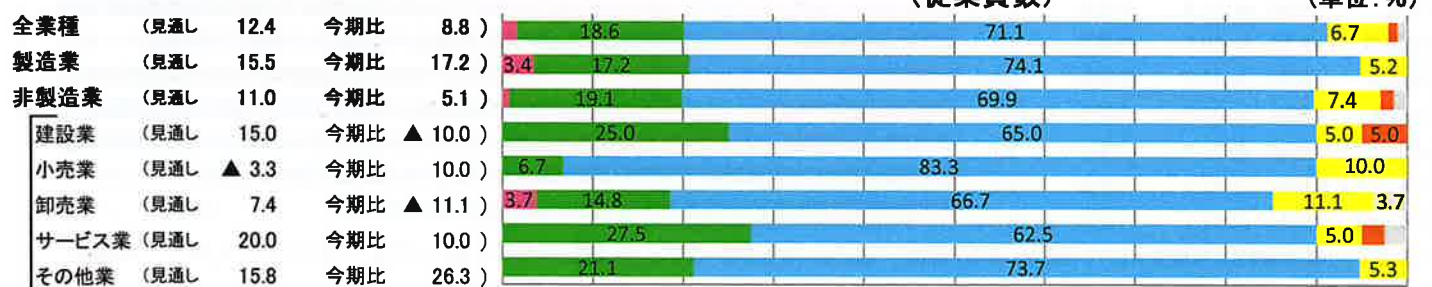
非製造業

■ 実際のDI値

■ 前期調査時点での今期見通し



来期(2022年1月～6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

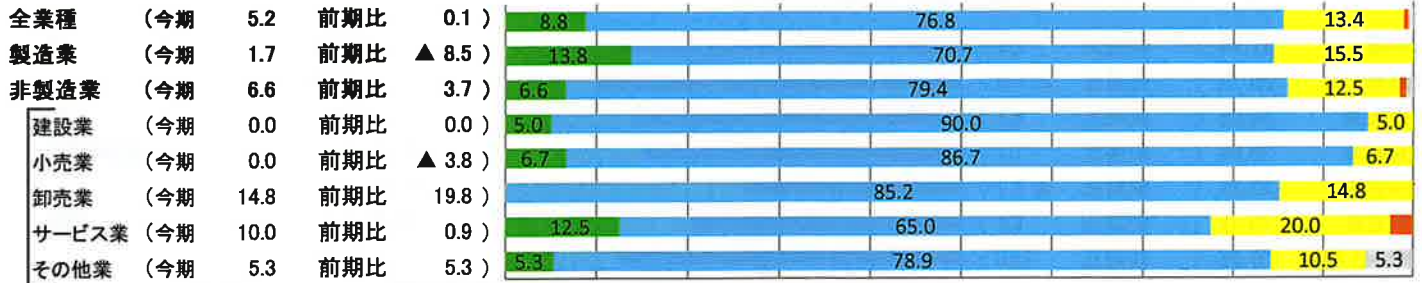
今期と比較した来期(2022年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で17.2ポイント上昇の15.5、非製造業で5.1ポイント上昇の11.0、全業種では8.8ポイント上昇の12.4と見通している。製造業で来期は上昇する見通しとなり、非製造業では小売業のみ、下降する見通しとなった。

今期(2021年7月～12月)のDI値

(設 備)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期(2021年7月～12月)の状況

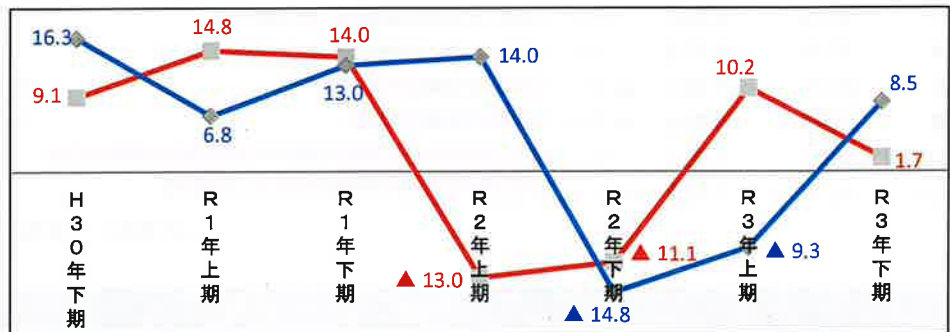
設備DI値は、製造業で1.7(前期比▲8.5)、非製造業で6.6(前期比3.7)、全業種で5.2(前期比0.1)となった。製造業、非製造業、全業種でプラスとなり、やや設備不足の傾向にあることが伺えた。

※前期比とは、前回調査(令和3年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移
製造業

■ 実際のDI値

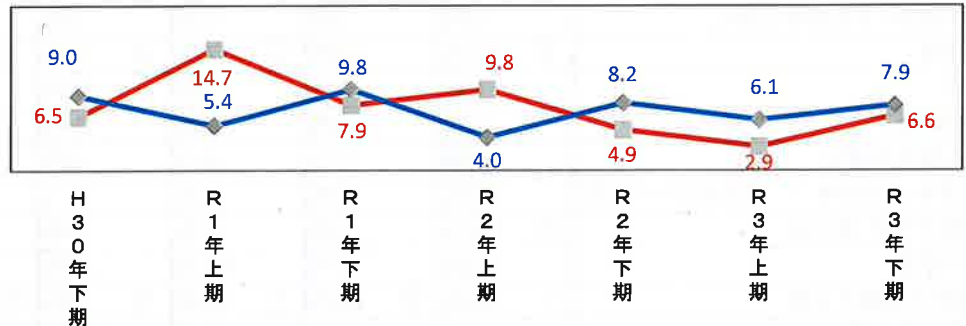
◆ 前期調査時点での今期見通し



非製造業

■ 実際のDI値

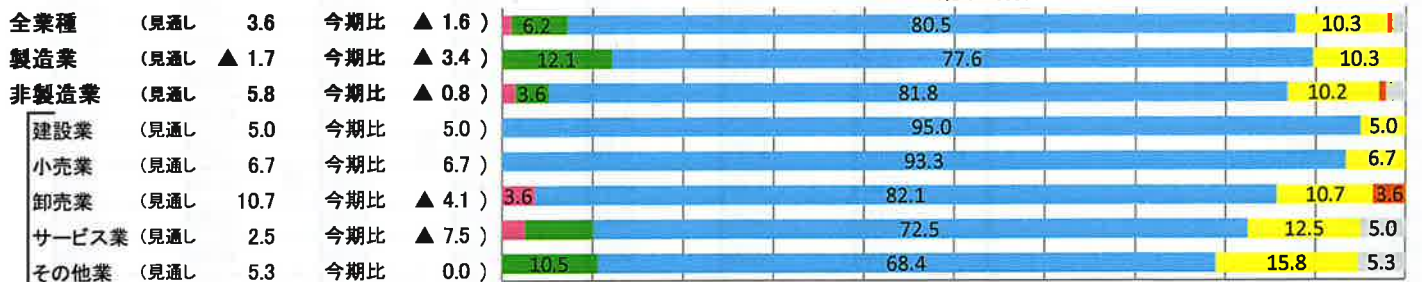
◆ 前期調査時点での今期見通し



来期(2022年1月～6月)の見通しDI値

(設 備)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

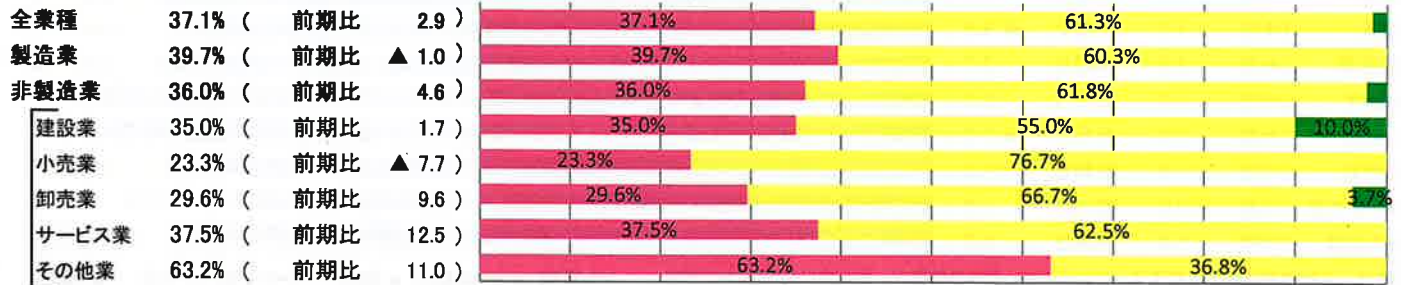
■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期と比較した来期(2022年1月～6月)の見通し

今期と比べた来期の見通しDI値は、製造業で3.4ポイント低下の▲1.7、非製造業で▲0.8ポイント低下の5.8、全業種で▲1.6ポイント低下の3.6と見通しており、製造業でやや設備過剰の見通しとなった。

【 新規設備投資 】

◆今期(2021年7月～12月)の新規設備投資を実施した割合



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

※前期比とは、前回調査(令和3年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

◆来期(2022年1月～6月)の新規設備投資を計画している割合



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

【 直面している課題 】

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	0.0%	1.6%	0.0%	2.8%	3.4%	1.6%	0.0%
需要の停滞	③ 24.1%	16.9%	③ 17.2%	② 16.7%	② 27.6%	11.5%	② 17.9%
為替差損	1.9%	1.6%	0.0%	0.0%	6.9%	1.6%	0.0%
売上単価の低下	5.6%	4.9%	0.0%	11.1%	3.4%	4.9%	3.6%
新規参入業者の増加	0.0%	2.2%	3.4%	0.0%	0.0%	3.3%	3.6%
製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応	18.5%	6.6%	0.0%	11.1%	0.0%	4.9%	② 17.9%
生産設備の不足・老朽化	③ 24.1%	2.2%	3.4%	5.6%	0.0%	1.6%	0.0%
原材料の不足	14.8%	2.7%	10.3%	0.0%	6.9%	0.0%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	① 70.4%	② 20.2%	① 44.8%	③ 13.9%	① 44.8%	4.9%	10.7%
下請負単価の上昇	0.0%	0.5%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
官公需要の停滞	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	6.9%	0.0%	0.0%
取引条件の悪化	0.0%	2.0%	0.0%	2.8%	0.0%	1.6%	0.0%
金利負担の増加	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%
事業資金の借入難	0.0%	1.6%	0.0%	5.6%	0.0%	1.6%	0.0%
購買力の他地域への流出	0.0%	1.1%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
在庫の過剰	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%
価格への転嫁難	② 33.3%	6.0%	3.4%	5.6%	③ 17.2%	1.6%	7.1%
人件費の増加	13.0%	7.7%	3.4%	5.6%	6.9%	③ 13.1%	3.6%
設備の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駐車場の確保難	1.9%	1.1%	0.0%	2.8%	0.0%	1.6%	0.0%
店舗・施設の老朽化	3.7%	4.4%	0.0%	2.8%	3.4%	4.9%	10.7%
従業員・熟練技術者の確保難	16.7%	② 20.2%	② 27.6%	11.1%	③ 17.2%	① 27.9%	10.7%
燃料費(電気料金を含む)の高騰	11.1%	4.9%	6.9%	5.6%	0.0%	3.3%	10.7%
コロナの影響	16.7%	① 21.3%	③ 17.2%	① 30.6%	③ 17.2%	② 19.7%	① 21.4%
その他	1.9%	2.2%	0.0%	0.0%	3.4%	3.3%	3.6%

参考資料

小規模事業者（従業員：製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下）

※宿泊業および娯楽業は20人以下

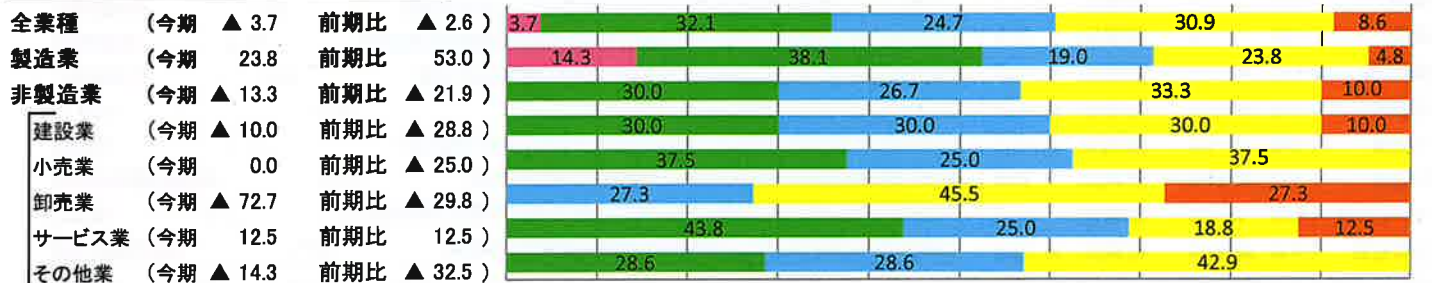
景況調査結果

- 目的：当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間：2021年7月1日から2021年12月31日（2021年（令和3年）下期）
- 調査実施期間：2021年12月27日から2022年2月4日
- 調査方法：郵送によるアンケート方式
- 調査対象：当所管内会員事業所の小規模企業者（従業員数が製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下） 355 事業所 ※宿泊業および娯楽業は20人以下
- 回答数：81（回答率 22.8%）

業種		従業員数		
		0～5人	6～20人	合計
製造業		8	13	21
非製造業	建設業	5	5	10
	小売業	16		16
	卸売業	11		11
	サービス業	16		16
	その他業	4	3	7
合計		60	21	81

業況DI

今期(2021年7月～12月)のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化

来期(2022年1月～6月)の見通しDI値



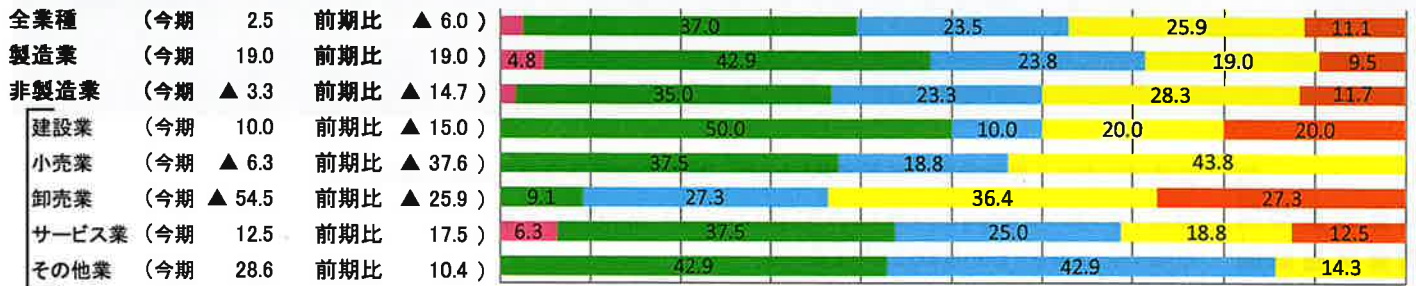
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2021年7月～12月)のDI値

(売上)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少

来期(2022年1月～6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

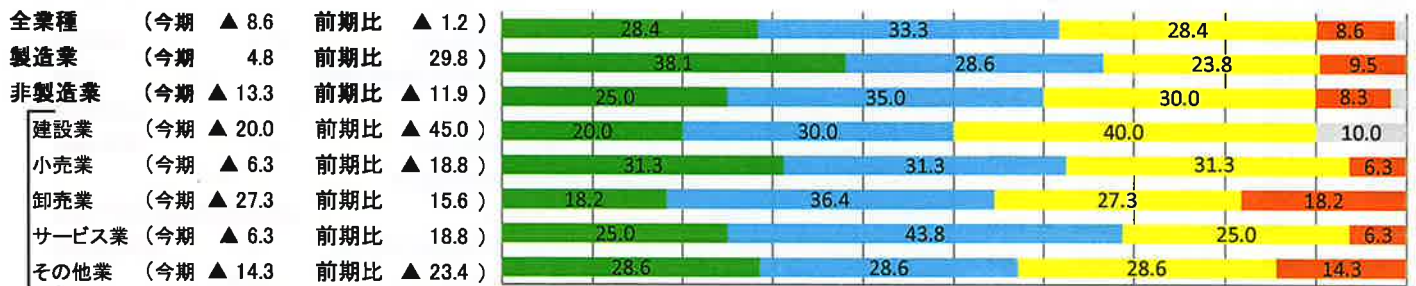
■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

採算DI

今期(2021年7月～12月)のDI値

(採算)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

来期(2022年1月～6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2021年7月～12月)のDI値

(資金繰り)

(単位: %)



来期(2022年1月～6月)の見通しDI値



在庫DI

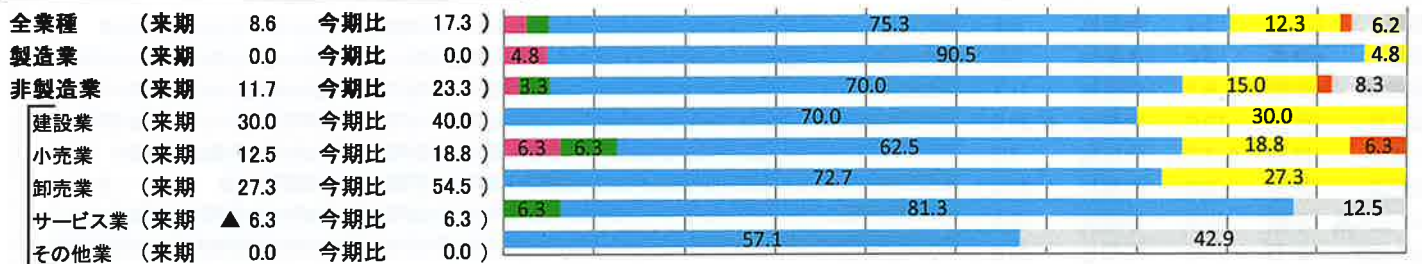
今期(2021年7月～12月)のDI値

(在庫)

(単位: %)



来期(2022年1月～6月)の見通しDI値



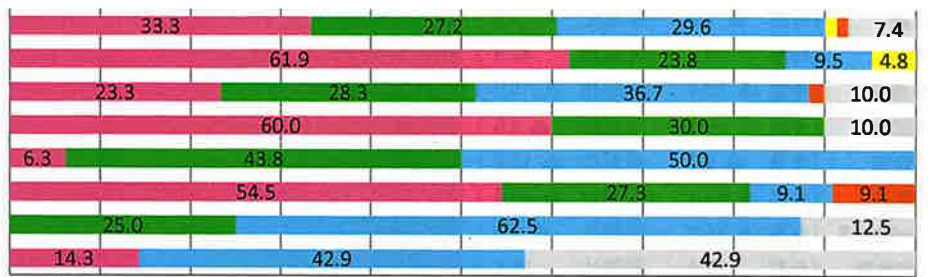
仕入単価DI

今期(2021年7月～12月)のDI値

全業種	(今期 ▲ 58.0 前期比 ▲ 6.9)
製造業	(今期 ▲ 81.0 前期比 ▲ 14.3)
非製造業	(今期 ▲ 50.0 前期比 ▲ 4.3)
建設業	(今期 ▲ 90.0 前期比 ▲ 15.0)
小売業	(今期 ▲ 50.0 前期比 ▲ 6.2)
卸売業	(今期 ▲ 72.7 前期比 ▲ 1.3)
サービス業	(今期 ▲ 25.0 前期比 10.0)
その他業	(今期 ▲ 14.3 前期比 ▲ 5.2)

(仕入単価)

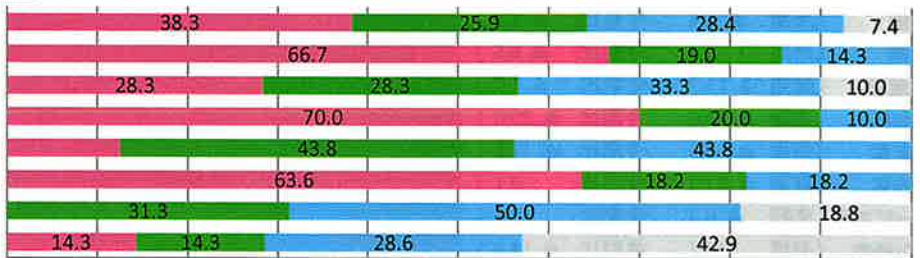
(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

来期(2022年1月～6月)の見通しDI値

全業種	(来期 ▲ 64.2 今期比 ▲ 6.2)
製造業	(来期 ▲ 85.7 今期比 ▲ 4.8)
非製造業	(来期 ▲ 56.7 今期比 ▲ 6.7)
建設業	(来期 ▲ 90.0 今期比 0.0)
小売業	(来期 ▲ 56.3 今期比 ▲ 6.3)
卸売業	(来期 ▲ 81.8 今期比 ▲ 9.1)
サービス業	(来期 ▲ 31.3 今期比 ▲ 6.3)
その他業	(来期 ▲ 28.6 今期比 ▲ 14.3)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

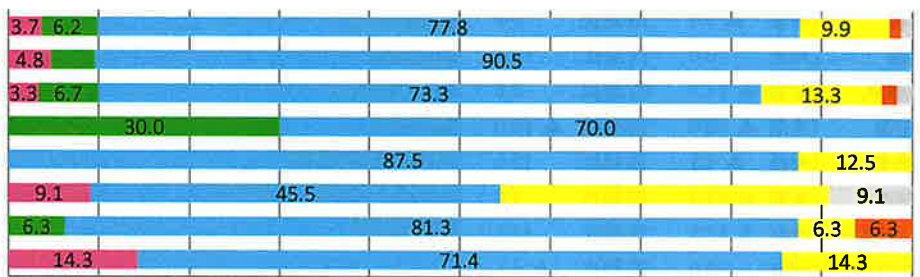
従業員数DI

今期(2021年7月～12月)のDI値

全業種	(今期 ▲ 1.2 前期比 ▲ 1.2)
製造業	(今期 9.5 前期比 13.7)
非製造業	(今期 ▲ 5.0 前期比 ▲ 6.4)
建設業	(今期 30.0 前期比 11.2)
小売業	(今期 ▲ 12.5 前期比 6.3)
卸売業	(今期 ▲ 27.3 前期比 ▲ 27.3)
サービス業	(今期 ▲ 6.3 前期比 ▲ 11.3)
その他業	(今期 0.0 前期比 0.0)

(従業員数)

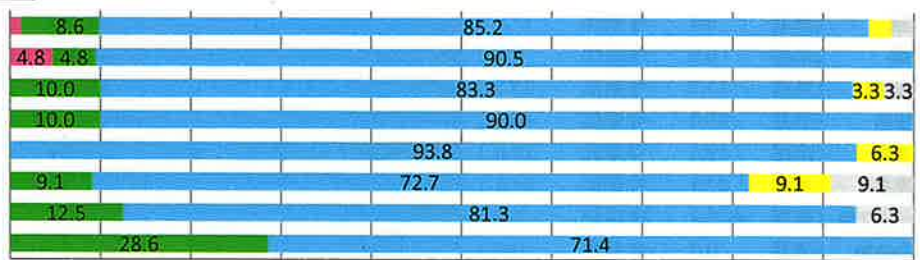
(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

来期(2022年1月～6月)の見通しDI値

全業種	(来期 7.4 今期比 8.6)
製造業	(来期 9.5 今期比 0.0)
非製造業	(来期 6.7 今期比 11.7)
建設業	(来期 10.0 今期比 ▲ 20.0)
小売業	(来期 ▲ 6.3 今期比 6.3)
卸売業	(来期 0.0 今期比 27.3)
サービス業	(来期 12.5 今期比 18.8)
その他業	(来期 28.6 今期比 28.6)

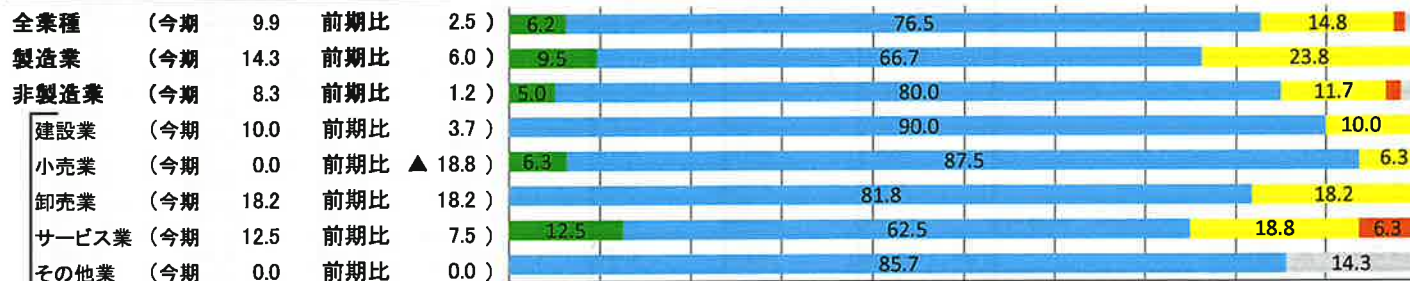


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少

今期(2021年7月～12月)のDI値

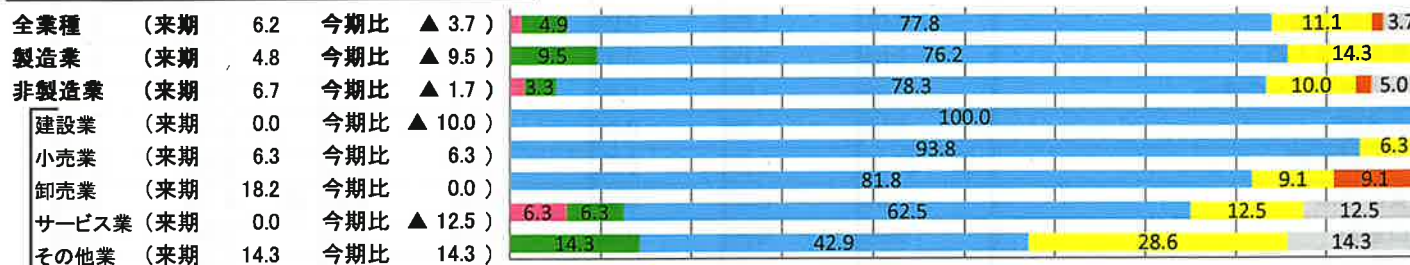
(設備)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(2022年1月～6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

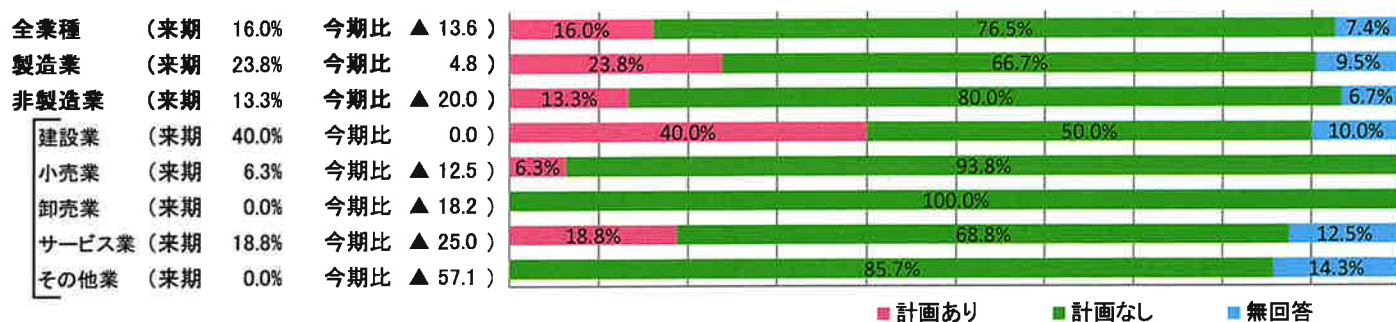
新規設備投資

◆今期(2021年7月～12月)の新規設備投資を実施した割合



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

◆来期(2022年1月～6月)の新規設備投資を計画している割合



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	0.0%	1.6%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
需要の停滞	23.5%	① 23.4%	② 16.7%	② 17.6%	① 55.6%	② 16.7%	② 25.0%
為替差損	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
売上単価の低下	5.9%	9.4%	0.0%	② 17.6%	11.1%	11.1%	0.0%
新規参入業者の増加	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応	17.6%	10.9%	0.0%	11.8%	0.0%	11.1%	① 37.5%
生産設備の不足・老朽化	② 29.4%	3.1%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%
原材料の不足	0.0%	1.6%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	① 58.8%	① 23.4%	① 41.7%	② 17.6%	① 55.6%	5.6%	12.5%
下請負単価の上昇	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
官公需要の停滞	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
取引条件の悪化	0.0%	1.6%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
金利負担の増加	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%
事業資金の借入難	0.0%	3.1%	0.0%	5.9%	0.0%	5.6%	0.0%
購買力の他地域への流出	0.0%	1.6%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
在庫の過剰	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
価格への転嫁難	② 29.4%	6.3%	0.0%	5.9%	22.2%	0.0%	12.5%
人件費の増加	11.8%	6.3%	8.3%	0.0%	0.0%	② 16.7%	0.0%
設備の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駐車場の確保難	5.9%	3.1%	0.0%	5.9%	0.0%	5.6%	0.0%
店舗・施設の老朽化	5.9%	6.3%	0.0%	5.9%	0.0%	5.6%	② 25.0%
従業員・熟練技術者の確保難	11.8%	① 23.4%	① 41.7%	② 17.6%	11.1%	① 22.2%	② 25.0%
燃料費(電気料金を含む)の高騰	5.9%	6.3%	② 16.7%	0.0%	0.0%	5.6%	12.5%
コロナの影響	5.9%	20.3%	0.0%	① 29.4%	② 33.3%	① 22.2%	12.5%
その他	0.0%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	12.5%